

2021年2月14日(日)／説教者：瑞慶山道弘

説教：「あなたの神の子とする愛」

聖書：ヨハネの手紙一3:1

父なる神は、私たちのために神の独り子、イエス・キリストの命をも惜しまずにささげるほど、大きな愛を現して下さいました。

神の独り子が私たちの身代わりとなった。しかも最も残酷な死刑と言われる十字架刑によって、あまりにも大きな犠牲を払って、キリストはその尊い命をささげて下さったのです。その時の父なる神の苦しみの大きさ、葛藤の激しさは、とても計り知れないものです。それほど大きな愛で愛されていることを覚えたいのです。

もし私がペットの犬や猫を助けるために、自分の子供を犠牲にするとしたら、どうなるでしょう。人でなし、親失格、気が狂った牧師と言われるでしょう。いや、それはもう犯罪者となってしまいます。

「御父がどれほどわたしたちを愛して下さるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。」( I ヨハネ 3:1)。

ここで「御父がどれほどわたしたちを愛して下さるか、考えなさい。」とあるように、考えてみましょう。父なる神が私たちに対してして下さいたことは、私たちを救うために、神の独り子を犠牲にしたのです。これはもうあり得ないことです。この愛は私たちの常識では考えられません。私たちの常識をはるかに超えているのです。

さらに父なる神の愛は、私たちを神の子として下さるほどに大きなものです。父なる神は我が子でなかった者を、我が子として受け入れて下さった。我が子でなかった者を、我が子として愛して下さいた。もっと言えば神の独り子、イエスの命を犠牲にしなければならない、その原因となった罪人たちを「我が子」として、受け入れ愛して下さいたのです。

そのような人知を超えた愛、桁外れに大きな愛が、今日も私たちに注がれていることを覚え、神の愛と祝福の中を歩みましょう。(瑞慶山道弘)